

番号	意見の内容
1	答申案の内容には異論なし。早期に具体策準備を。
2	「子供」の表記は常用漢字表に記載されている字であり、定着しているものを敢えて漢字・かな表記にするのには違和感を禁じ得ない。再考を希望する。
3	<p>「1)目標1 災害に強く安全・安心に暮らせるまち」の「(3)地域の絆を強め、防災力と防犯力が高い地域社会を形成する」について、  個人の見識・行動の自由を尊重し、これを阻害しない事を旨を明記する事。基本的な方向には共助、地域コミュニティの強化などの「絆」を強調する方向が記載されている。しかし、個人の"孤立する自由"をも否定しているように見える。したがってコミュニティの強化も個人の自由を阻害しない程度に抑制すべきで、その旨を明示すべき。</p> <p>「2)目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち」の【戦略的・重点的な取組み】について。荻窪駅周辺まちづくりに関する記述を削除する事。あくまでこれは基本的な方向性であり、具体的な開発案件は別途検討すべき。</p> <p>5)目標5 人をはぐくみ富につながる心豊かなまち【取組の基本的な方向】の「グローバル社会の進展を踏まえ、日本の伝統と文化への理解を深めるとともに、多様な文化が共存する共生社会を築いていきます。」の「日本の伝統と文化への理解を深めるとともに、」を削除する事。日本の伝統や文化は「多様な文化」の中に含まれ、重複しているので不要。</p> <p>5. 基本構想を実現するために1)参加と協働による地域社会づくりについて、会社員やアルバイトなどの賃金労働者の意見を反映する仕組みを区が設ける事を明記する事。これら労働者の意見を聞き、それを反映する事は極めて限定的にならざるを得ない。</p>
4	<p>「子供」を「子ども」とする表記はいかがなものか。「子供」の「供」は小学校で習う漢字なのに、わざわざ変更する必要があるのか？</p> <p>【骨組みの基本的な方向】について  自国の文化については、「日本の伝統と文化の理解を深め」のみなのが気になる。日本文化と、杉並区の郷土愛については、「理解」だけでなく、「積極的」に育む取り組みを求める。</p>
5	なぜ「子供」を「子ども」と表記するのか？蔑語と感じる人は、正しく蔑視する気持ちがある証拠。
6	<p>健康長寿と支えあいのまち  健康長寿をまっとうするには、早目早目に手当てをし、きちんと安心してかかれる医療の継続が大切。  介護が必要になっても安心して  90歳の要介護の母を1人で介護している友人が特養入所を申し込みもう1年待った。もう待てない自分が倒れてしまう、母に手をかけてしまいそうになると泣いている。  全体として具体性に欠けている。現状をしっかりと分析し、現実性のあるものにしたい。  生活者(利用者)の視点で検討して頂きたい。効率化、再編整備の名のもとで、区民に不便と負担になるようなことはしないでほしい。</p>
7	<p>これまでも取り組んできたものと今後新たに取組むものがあるが、まずそれを分けるべき。そして、これまで取り組んできたものに関しては、そのレビューと結果を示し、どう改善していくのかを明記すべき。また、新たに必要となる取組に関しては、その必要性をもっと明確にすべき。  1500億円規模の区財政で、本当に実行できるのか。どのくらいの予算が必要かを示さないと、絵に描いたもちになる。</p> <p>基本構想の実現に向けて、役所自体の役割や体質も変わっていく必要がありますが、それも示してほしい。</p> <p>構想案では「ICTを活用して」と随所に見受けられるが、効率化を進めるためには必要なことだが、インターネットなどのICTを活用できない区民も多い。ICTの活用により、情報格差が生まれないようにすべき。ICTを活用できない高齢者や弱者へ、如何に公平に情報を提供するか、その手段を考える必要がある。</p>
8	<p>10年というスパンは決して長くない。時代の変化に迅速に対応できるよう、構想の実現に取り組んでいただきたい。</p> <p>地域活性化の観点から、何かファンドを作り、裕福な区民の投資(支援)を得て、杉並区が発展できるような仕組みがつかれないか。</p>

番号	意見の内容
9	<p>目標1 災害に強く安全・安心にさせるまち 「予期せざる原発事故に対する、正確情報把握 測定 機能、除染作業等について計画化すること。」を追加されたい。</p> <p>目標2 みどり豊かな環境にやさしいまち 「「みず」を加えること。「善福寺川」「神田川」「妙正寺川」を「みず」と「みどり」の基幹軸として、人と生物の生態系を創ること。」</p> <p>目標3 健康長寿とささえあいのまち 「年寄りを敬う古来の美風を喚起するとともに、高齢者の知識経験を社会資源として活用する方策をすすめること。」を追加されたい。</p>
10	<p>「静かな街、杉並」を街づくりの基本構想に加えて頂きたい。特に深夜、早朝のサイレン音を自粛と新サイレン音の研究</p>
11	<p>いつ直下型大地震が起きてもおかしくない状況下で、大震災の際の避難地が極めて少なくなっており、区民の“いのち”をどう守るかが、区政の最大の課題である。こういう視点から、6,185㎡の荻窪小学校の跡地は、じつに貴重である。ここに不要な体育館をつくることは、私ども近隣区民として看過できず、絶対に反対である。</p>
12	<p>基本構想の内容を区と区民が共通認識を持って進めていくためには、区民が基本構想について十分理解することが前提となるので、以下の点に配慮していただくと良い。</p> <p>目標2の中の、「ユニバーサルデザインによるまちづくり」について 、「ユニバーサルデザイン」の言葉の意味がわからない人も多いと思われるので、注釈を入れて説明したほうが良い。また、多岐にわたる施設をどのようにユニバーサルデザインによって創っていくかがよくわからない。区、民間、区民がどのようにかかわっていくのか説明すべき。</p> <p>目標3の中の「緑のネットワーク化」ほかについて ・ 緑をどのようにネットワーク化していくのか、またその効果や意味がわからない。むしろ「公園、屋敷林、街路樹、緑の水辺、グラウンドなどとそれぞれの地域で特徴を生かした緑の拠点づくり」とでも表現したほうがわかりやすい。</p> <p>・ 緑豊かな美しい住宅都市について、「杉並区景観計画」などとの関係はどうなるのか。</p> <p>目標5の中の「男女共同参画の観点からワークライフバランスに配慮した社会環境づくり」について、言葉の意味がわからない人も多いと思うので注釈を入れて説明するほうが良い。</p> <p>目標2のなかの「戦略的・重点的な取り組み」について 荻窪周辺まちづくりで南北分断の解消、都市機能の強化については、それはそれで進めれば良いのですが、それよりも多心型まちづくりを第一に考えて住宅都市杉並づくりを進めるべき。したがって、重点の置き方という意味で、前段の荻窪の話と後段の多心型まちづくりを逆に記述したほうが良い。</p> <p>生き生きとした活力あるまちづくりには若者や働き盛りの人々が生き生きと元気で仕事に従事し、あるいは社会貢献活動に参加できるように、その意識を醸成し、また仕事の間や活動の間を広めることが必要。また、出来れば、遊休の国営地を活用するなどして大学や各種学校の誘致、芸術やスポーツの拠点施設の誘致なども行えばさらに多くの人が集まり、まちの魅力が増すものと思う。基本構想には、このような施策を検討し、盛り込むべきと考えます。</p>
13	<p>原水爆禁止を発言した土地である。平和をそして弱い立場の人達の事を忘れないで欲しい。</p>
14	<p>弱者である高齢者や障がい者や子どもたちが安心して住めるように、保育園の充実や、特養ホームの充実が何よりも優先していくことが大切。</p>

番号	意見の内容
15	<p>少子化・高齢化について 東京都区部は、地価値上がり放置・民間開発任せの政策路線により個人が新たに購入困難な地域となっている。職住接近政策、保育施設拡充など、働きながら子育てできる、住宅都市杉並を目指すこと。高齢者も安心して住み続けられるためには、低家賃公営住宅、養護老人ホームの需要に見合った建設などが必要である。</p> <p>災害に強い、安全に暮らせるまちについて 広域幹線道路は、災害時に防災に役立つと考えられない。むしろ、混乱の原因となり、災害拡大にも成り得る。自動車優先でなく、都区内は自動車を規制、バスなどの公共交通機関整備、自転車専用レーンなど人車区分して、歩行者の安全を守る、発想の転換こそ必要である。</p> <p>暮らしやすく快適で魅力あるまちについて 駅周辺・商店街など、大型店中心のまち・魅力のないまちづくりにはならない。地元の意見を尊重し、地元商店が生き続けられる町こそ、魅力あるまちであり、高齢者や子供など、安心の人間に優しいまちだと考える。</p> <p>健康でいきいきと暮らせる仕組み 区民が誰でも、趣味・教養・健康のため、手軽に利用できる施設を、歩いて行ける区域に多数つくってほしい。自治体の役割は、住民の命と暮らしを守ることであり、区民こそ主人公の区政であるべきです。民間活力活用の名による、民間委託＝企業奉仕、住民無視の区政であってはならない。</p>
16	<p>教育学と照らしてどうか？こどもの立場からどうか？などの立場に立って学区を守ることから、コミュニティを守り、PTAを守り、本来の文化、伝統を守ることになるのではないか。</p>
17	<p>荻窪駅周辺の再開発 青梅街道は上に、環状8号は下になったインフラを改修することなく、駅の東側を架橋する南北2～3街区共同の都市再開発事業を敢行すべき。再開発は7、8年～15年を要するので(現在組合の話もないのであれば)この10年間は「再開発準備組合」を立ち上げ、素案の検討には区民参加の「構想提案コンペ」を提案する。</p> <p>南北道路問題 中杉通りの南進は区民にとって大きな関心事。宅地を貫通するゾーンは応分の費用が必要と思われるが、当該事業は巾約54～5mを対象とし、道路だけでなく両側に巾15m程度の宅地を確保し、当宅地を道路と一体化して開発(4～5階建ての沿道型建築;南北方向に伸びる建築になるので日影問題が少ないはず。)することで、既住民の利益にも繋がる官・民合体型の開発を提案する。</p> <p>高井戸公園(東電グランド跡地) 東京電力総合グランドを都市計画公園化することは、防災・避難という側面からも大変有意義。しかし、西北側入り口(所有地部分)の整理・改良、東側(都立中央ろう学校側)通路の拡幅、27番地の区公園との一体化が必要で、物理的にも開かれた公園とすべき。</p> <p>無縁社会から絆を持つ街へ 昨今は高齢化に伴い空き屋問題や小・中学校等施設の再編問題もあるでしょうが、このところ都市計画では住民参加型の街の管理が話題になることがある。杉並区には退職後の社会活動を求めている人も多くNPOも沢山ある。7つの地域(7～8万人居住?)で「地域会」を立ち上げ、自らの街の環境を維持・向上するような活動(公園や学校の清掃・管理など)をしてもらう計画があてたい。</p>
18	<p>策定の背景の2の(2)に「杉並区が相対的に埋没していく」とあるが、中野や三鷹並の開発を目指しているのか。</p> <p>同じく(3)で「さらなる行財政運営の効率化や区内施設の再編整備」とは前区政の延長線上にあるものと考えてよいのか。もしそうなら大変不安に思う。</p> <p>2010年のアンケートの中で「犯罪の少ないまちづくり」への関心が高かったとしているが、構想の中でこれに対する言及が不足しているように思える。</p> <p>「10年後の杉並」で「老朽化した木造家屋の建替」とあるが、個人住宅建替えの費用を補助すると考えてもよいのか。アパートマンションの住民の区民意識をどう育てるか大きな課題だと思うが、具体的な取り組みをしていただきたい。</p> <p>目標2での10年後の姿で「まちなぎわいと活力」とありますが、閑かな街を是とする人も多い。</p> <p>「地域の特性を生かした産業」の項で「医療・福祉」を産業と考えるのは、民間への丸投げを想像させられ不快の念を禁じ得ない。</p> <p>「杉並」の顔とはどこに向けての顔か。外に向けての顔より内に向けての顔であってほしい。</p> <p>「幼保一体」になったときの具体像が不明確。</p> <p>「質の高い福祉・介護・・・」はそれにたずさわる人への報酬のアップが何より先決。</p>

番号	意見の内容
19	<p>「健康でいきいきと暮らせる仕組みを整える」の中の「関係機関と調整して、地域医療体制の充実を図ります。」について  「医療は生存権を具体化した社会保障と位置づけ、医療と福祉の両面から地域医療体制の充実を図ります。」という理念で取り組んで欲しい。</p>
20	<p>もう少し、福祉や教育にお金を使って欲しい。</p>
21	<p>3・11を受けて、安全・安心に暮らせるまちというのは理解できる。  開発優先のようなまちづくりからの脱却する必要があるのではないか。多心型のまちづくりを地域の意見を聴取してすすめ、荻窪を杉並の顔として、再開発をしていくのには賛成できない。  幹線道路の整備とりわけ、外環道の推進には反対。車優先の道路から住民の安全優先とする行政を。  目標は5つとなっているが、杉並の平和と文化について項をもうけ、歴史や文化人を顕彰していくようなまちづくりを望む。  「戦略」という語句に違和感を覚える。長期的計画とか政策的にとかに変えて頂きたい。</p>
22	<p>法律上、作成義務がなくなったのだから、基本構想を作る必要はない。「10年計画」といっても、区長が変わればまた変わるのだから。無駄な労力だと思う。また、委員の方々の報酬、職員の余分な人件費、企画費用、DVD制作費、広報(特集号)や資料代など、相当な費用がかかっている。これらの経費と努力・英知を区民の福祉、医療、教育、文化等に直接充当して欲しい。  「基本構想」は、抽象的な美辞麗句を並べ立てているだけで、「区民の命と暮らし・営業を守る」という「心」が伝わってこない。実際、行政が果たしたことは逆であった。4万人近くの住民の「広域避難場所」として指定され、杉並区の環境保全にとって大変重要な地位を占めていた広大な「三井グランド」(8,3ha)を潰してマンションを開発する三井不動産の計画に、杉並区が全面的にバックアップされたのではないか。</p>
23	<p>区民は、長い戦争の時代の苦難のなかで、いのちと暮らしを守り、そしてまちを守ってきた。このなかで、いまの杉並の平和と文化、くらしが築き上げられてきた。だから、基本構想は何よりも「歴史に学び平和の文化を築くまち」ではないか。54年に原水禁署名運動をよびかけ発祥の地となったのである。この原点を忘れてはならぬ。  いま必要な理念は、自助や共助の強調ではなく、基本的人権としての生存権を保障することを地方自治体の最重要の責務と明確に宣言することであろう。</p>
24	<p>質の高い魅力ある杉並らしい住宅都市づくりのためにいま何が必要かを鮮明にすべきだと思います。  例えば  ・若い世帯が1人の子供とと思っていたが、杉並では2人産んで育てることができる街づくりをめざす、そのための街づくりをすすめる。  ・住環境とうるおいのある街として自然環境の保全、少なくなった都市農業の振興、地域社会の絆づくり  ・杉並の伝統文化の継承と広がり 等々  構想のなかで、もっと住民の意見を求めるべき答申案について地域の説明会に力を入れて話し合うことが必要。</p>

番号	意見の内容
25	<p>「4) 目標4においては、区民がいつまでも健康で、住民相互が支えあうべきとする住民の心得が繰り返し掲げられているが、基本構想には、区民の努力を超えて、自治体が区民を支える仕組みがつくられることを明確に掲げられることを切望する。</p> <p>以下、</p> <p>4) 目標4 地域で安心して生活できるまち 最初の四角内を削除する。</p> <p>【10年後の姿】 重要な項目順に入れ替える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な人に対する福祉の仕組みが整ってきている(「安心」を「福祉」と変える)</li> <li>・いきいきと生活できる環境や仕組みが整ってきている</li> <li>・健康長寿を支える取組が進んでいる</li> </ul> <p>【取り組みの基本的な方向】 * (1×2×3)の順を逆にする。’</p> <p>(1) 地域で安心して生活できる仕組みをつくる(「環境」を「仕組み」と変える)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でも地域で安心して生活ができるように、医療・介護・福祉の…以下そのまま</li> <li>・認知症に対する施策を推進・充実させます(この項目追加)</li> <li>・在宅介護者を支援する仕組みを充実させます。(この項目追加)</li> <li>・在宅生活に支援が必要な人のための様々な「住まい」の整備……以下そのまま</li> <li>・高齢になっても障害があっても自分らしく生きていけるよう…以下そのまま</li> <li>・医療や生活に不安がある人に、地域の関係機関と連携して…… 以下そのまま</li> </ul> <p>(2) 社会参加をすすめる仕組みをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や性別、障害の有無や立場を越えてお互いが理解しあえるよう、心のバリアフリーを推進します。</li> <li>・高齢者や障害者の社会参加や就労機会の拡大に努めます。</li> <li>・必要な情報を容易に入手できる仕組みを構築します。</li> </ul> <p>(3) 健康でいきいきと暮らせる仕組みを整える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健診などを通して一人ひとりの健康管理・健康増進につなげ、関係機関との調整をはかり、地域医療体制を充実させます。</li> </ul> <p>【戦略的・重点的な取り組み】 安心の在宅生活を支える医療・介護基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原文のまま。ただし「地域ぐるみで支える」を削除する。</li> <li>地域で孤立することのない仕組みづくり</li> <li>・地域で孤立せず生活できるように、実情把握と情報提供を推進する仕組みを充実させます。</li> </ul>
26	<p>「はじめに」の前文を含め従来四半世紀で策定していたものを10年計画にされたという割りには、どこをとっても殆ど具体性が欠如している。基本構想という性格上具体性を持たせるのは困難かもしれないが、説得力が致命的に欠如している。</p> <p>基本構想とは、「区の計画体系の最上位に位置する」と定義されているが、杉並区自治基本条例の31条において「この条例は区が定める最高規範である」と既に定められており両者の整合性がとれない。</p> <p>2 - (2) 変化する東京と杉並のまちづくりについて、杉並が埋没しない為にはどうすべきか全く方向性が見えない。</p> <p>2. 基本構想の理念1 - (2) では質の高い魅力ある住宅都市としての杉並区、と記載しておきながら一方では4. 取組の基本的方向中目標2の取組の基本的方向において、「魅力的で多心型まちづくりを進める」という訳の分からない表現が用いられ、明らかに両者は矛盾する。</p> <p>私たちが目指す10年後の杉並は、作文以外の何者でもないが、目標1～5まで本当に達成して頂ければ何も申し上げることはなく大変結構なことである。</p> <p>再生可能エネルギーと一口で申しても、これだけでは只書いておけば良いという絵空事。例えば太陽光発電を行うにしても現時点では未解決部分も多く、区政レベルでは対応が難しいのではないかと。</p> <p>みどりについては現在個人所有の屋敷林に依存するところが大きいとされているが、在来の税法や民法では早晩立ち行かなくなることは明確である。これは杉並区だけの問題ではなく、各自治体と連携し憲法改正も視野に入れて検討しなければ解決は不能であると思われる。</p>

番号	意見の内容
26	<p>目標5の(2)に質の高い学校教育を推進するについて、そうであるならば結果の平等ではなく機会の平等を重視すべき。子供たちには十分に競争をさせ、客観的基準での優劣を明確にし各人のレベルに応じた教育を行うのが肝要で、その為には能力別のクラス分けや学校のランク付けも必要。</p> <p>男女共同参画についてはたった2行で片付けられる程簡単な問題ではない。</p> <p>5. 基本構想を実現するために</p> <p>区民やNPO、地域団体等との連携は必要不可欠と思われるが、度が過ぎると地域での権力集中の温床になり兼ねず大変危険である。</p> <p>大変気になったのが、随所に出てくる「子ども」という交ぜ書き。元来「子供」は小学校で習うはずであり、申すまでもなく難解な漢字ではない。敢えて「子ども」と表現した根拠について御説明いただきたい。</p>
27	<p>大型開発に関しては反対。それよりもやらなくてはいけない事がある。児童手当や医療の問題他種々ある。</p>
28	<p>杉並区が良好な住宅都市として発展していくためには、区民と区が共存する将来像を定めることが必要と、その意義を強調されているが、抽象的でよくわからない。</p> <p>荻窪駅を中心とした南北の再開発になるのか？「住宅都市杉並」はすでに住民の努力ではじまり、現在の姿になってきたのではないか。特に南口の住宅街は近衛邸・大田黒邸・角川邸等々閑静な所である。区の予算はもっと1日も早く必要とする、認可保育園・特養ホームなどに使われた方が良い。</p>
29	<p>「大都市災害への備え」に関する提案</p> <p>6年前の集中豪雨の時には、未完成だった環七下の遊水池に川の水を流し込んだ。しかし、あの時環七より上流では川が氾濫し床上・床下浸水の被害がかなり発生した。上流の方は豪雨の影響がいつまでも残る下流と違い、少しの対策でも豪雨の降っている間だけ凌げば大きな効果が望める。東京都の計画を早く実行に移して頂くと同時に、川沿いの公有地(井荻小学校、荻窪中学、関根文化公園など)の地下に遊水池を作って、上流の洪水対策を急いで頂きたい。</p>
30	<p>今回の震災でつくづく荻窪駅前開発にお金を使うのでなく、高齢化の中でみんなが助けあえる、人間のつながりを深める杉並がほしいと思った。責任ある区の施設を小規模にたくさん作って人と人がつながれるシステムの基礎を区は考えてほしい。</p>
31	<p>意見しめきり10日は早すぎ、高齢者の集会(11月末)の段階で知っていた人は数人に過ぎなかった。救急で入ったら泊2~5万円の部屋しかないといわれ、複雑骨折なら入院はことわるといわれた。なんとか病院の充実をして欲しい。</p> <p>大きなビル大開発はிரらない。</p>
32	<p>フリーマーケットが高井戸リサイクル他でよく行われているが、月2回ではなく、4回位行ってくると嬉しい。申込んでもしつも当たらないと皆言っている。荻窪のフリーマーケットは出店料2,000円もするのは高い。</p>
33	<p>放射能汚染は、近所でも一番の話題。どうして書かれていないか？これからもっともって出てくる。書き加えて欲しい。</p> <p>絆と支えあいとか耳なれた言葉に抵抗がある。私たちの役割ばかり書かれ、区は責任がないのか？税金を福祉・子育てに具体的にどう使うか責任のある文面がどこにも見当たらない。</p> <p>特養ホームを10年計画でいくつ、どこにたてるか明記し、具体策を知らせて欲しい。</p>
34	<p>街づくり</p> <p>建物優先でゼネコンをもうけさせる区政にならない様に。道路は次々とできて住民の利益にならない事をたくさん経験した。住んでいる人が安心できる街づくりに重点をおいて欲しい。</p> <p>福祉について</p> <p>特養老人ホームはつくらなくて、家族の絆という、きれいごとで片付けない、老人が安心できる死に場所づくりに力を注いで欲しい。</p> <p>若者に仕事を</p> <p>次の世代が安心して暮らせる仕事を確保する事など・・・</p>
35	<p>住宅政策について、低所得者・高齢者に暖かい「区営住宅」の建設を。</p> <p>「質の高い住宅都市を築く」との美辞麗句が並んでいるが内容が不明確である。大規模開発を行うことを意味するのであるならば、区内住民の格差をますます拡大し、低所得者や高齢者への切り捨てにつながるものであり、反対である。</p>

番号	意見の内容
36	福島原発の放射能汚染は東京都全体、もちろん杉並区でも、長期的展望に立って対処すべき問題なので、ぜひ基本構想に挙げてほしい。
37	新しい基本構想の答申案に「病院」が無い。緊急救急医療センター付随の総合病院をつくるべき。個人病院は沢山あるので有難いと思っているが、総合病院の役は大きいと思う。
38	「戦略的・重点的取組み」の五つの目標はどれも立派だが、この五つの中のどれでもいいから「日本一」を目指すこととしてほしい。
39	絆、支え合い、区民との協働は大切だが、区政をしっかりやっただけではないか。一人ひとりにゆきとどいた教育のための予算を増やして欲しい。小中一貫教育、子供園化はやめて欲しい。荻窪を中心とする開発にかたよることなく、地域を活性化させる政治をして欲しい。自殺、孤独死をなくす政策をほどこしてほしい。
40	基本構想が区政運営の基本であるならば、取り組みの基本は、区政が何をやるかだろう。「地域の共助」とか「地域ぐるみ」「自助の取り組み」という言葉が多く、支えあうことは大事だが、まず区政が何をやるのかが見えてこない。杉並を近隣と比較しようと思わないし、一局集中にしないで欲しい。荻窪に大きいビルを建てるのは反対。杉並が好きなの理由のひとつが、子どもが大切にされることだから。子供園などという、姑息な手段で待機児解消をするのではなく、子どもが安心して過ごせる、保護者が安心して働き続けて納税が出来る、そのためにこそ、認可保育園が必要。
41	広報すぎなみにて「5つの目標」を読ませてもらい、この5つの目標が実現できれば確かに魅力ある杉並になると思った。基本構想を実現するために、隣接区市など他自治体との連携がうたわれている。幸い杉並には魅力ある市・区にも接しているため、例えばすぎ丸の拡大等具体的に協力していってもらえたらありがたい。
42	基本構想が決まる前に、総合計画、実行計画が一人歩きしている事に(区民、区議会への軽視)大きな問題を感じる。区民の生活が悪化しているとしながらも、区民のくらしを守る具体的な施策が提起されていなくて、区の責任・役割があいまいだと思う。特養待機者、保育園の待機児をどうするか具体的な施策が提起されていない事に無責任さを感じる。
43	最後に「基本構想に基づく総合計画の進捗状況を毎年公表」とある。これは、別途、総合計画が立案されるというのか？この基本構想には、具体的実施事項が記されていないので、何をいつまでに実施するつもりなのか不明。行財政改革も含めた基本構想になっているのか。増税はしてほしくない。建築物の耐震化や不燃化は、個人住宅の場合、個人負担が増えるような指導は困難ではないか。補助金を出すほど財政にゆとりも無いはず。低層木造密集地は区内に多く存在し、密集地区として位置づけられていなくても、救急車両が入ってこれない道路も多い。道路の拡幅整備やオープンスペースの確保とあるが、何処でどのような計画をするのか。いざというときの支援が必要な人を誰が助けるのかというのは、普段の自治組織がしっかりしているかどうかであり、今までの町内会組織を強化してほしい。特定地区に限ってまちづくりをする方針をたてると、他地区は不公平感を持つ。なるべく、地元の人たちで進めていくように、商工会議所などが、主導権を握るほうが良いのではないか。屋敷林や農地の保全是、税制を見直さないと地主はいつまでも豊富な緑地のある土地を持ち続けられないはず。杉並区単独で税制改革はできない。ささえあいのまちを実現するには、差別なく相手を思いやる心を持った人間教育が重要。義務教育期間中は、杉並区でしっかりとした人間教育をしてほしい。
44	23年11月11日号の広報に、区の新しい基本構想の答申案が載り初めて知った。22年12月に基本構想審議会が設置され、約一年経過したわけだが、意外とこの件について話題になっていない様に思う。知らない人が多数いる。区民の意見をと言うのはいいが、12月10日までには忙しすぎる。特に荻窪駅周辺が余りばつとしないとのことだが、荻窪は荻窪の良さがある。大切な区の予算は、福祉など緊急を要するものから使ってもらいたい。

番号	意見の内容
45	<p>大都市型災害に備えオープンスペースを確保するため区立施設の再編内容を具体的に明記すること。具体的な例として荻窪小学校跡地に宮前体育館移設計画を取りやめ、緑地公園としてオープンスペースを確保し震災に備える、移設予算は震災救援所である神明中学校の体育館、プールの改築費用にする。</p> <p>みどり難かな環境を維持する具体案を明記すること。相続が起きるごとに戸建て住宅が細分化され(1戸20～30坪)で緑が消滅している。戸建ての最小単位を50坪とするなど条例できめる。また、屋敷林は相続ごとに相続税を払うため消滅している。屋敷林を維持できるよう相続税について国と協議すること。例として屋敷林を現状のまま維持場合は神社同様課税対象にしない。</p>
46	<p>労働の場においては格差が拡大する一方、低賃金、不安定雇用、長時間労働(俗に言うサービス残業)などはその結果である。必要なのは、男女不平等や長時間労働を法律で徹底的に禁止する事。「働く場における男女平等参画の促進」を基本的な方向の中に原則を位置づけるようご検討いただきたい。</p> <p>各分野に共通して、審議会・協議会などの各会構成員の二分の一を女性とする。女性管理職数については目標値を定め一定数の登用を図ることが必要。</p> <p>男女共同参画について早期教育こそ肝心なので学校教育として毎年何コマか必修教育を設ける必要がある。</p>
47	<p>基本構想(答申策)は、優等生の模範的解答の域を脱しない。差し障りのないもの。もちろん、このような目標も必要であると思うが、今、私達が直面している根本的な問題は違うところにある</p>
48	<p>答申案については、文章化することも勿論大切だが、他に何らの方法(例えばAV、CD化)で、やさしく解説したものがあれば、お年寄りや子供たち(小中学生)にもアピールできる。</p>
49	<p>高齢化社会なので年寄りにやさしい町づくりをお願いしたい。気軽に年寄りが集まれる場所を沢山作って欲しい。</p>
50	<p>世田谷区では「世田谷区農地保全方針」を決定し、その特徴は都市整備方針と農業振興計画を連携させていること。この計画を参考に、残された農地を生かし、将来ゆとりある環境の良い街づくりを始めるべきである。また、いま農業体験農園が注目されているが、練馬区では区としても体験農園に様々な支援を行っている。この練馬区の取り組みは杉並にとっても重要な教訓にして良い。</p>
51	<p>10年後の杉並の姿、あり方を区民に問うのは良いことだが、意見を集中する期間も短いし、本当に聞きたいのだからと思ってしまう。案への意見中に総合計画・実行計画が出されている。</p> <p>住宅都市といいいながら、駅前開発を中心に行っているようでは納得できない。杉並らしい風情のある街づくりを区民の希望を聞きながらお願いしたい。</p> <p>特養待機者が1800人いる。10年で1000床では間に合わない。</p> <p>医療について、救急救命センターを持つ病院が杉並にはなく、安心してかかれる病院が必要。</p> <p>絆を繋ぐためには、精神論ではなく、高齢者や子どもの居場所が必要。ひきこもりにならないような地域ごとにだれでも使えるたまり場をつくって欲しい。</p>
52	<p>「区民の共助」が強調されているが、「区の福祉を守る」立場がない。予算を含めて強化する方向を打ち出して欲しい。</p> <p>「質の高い住宅都市を」というなら、「緑ゆたかな住環境を守る」事が大事。相続税の軽減や、乱開発を防ぐこと。</p> <p>環境保全などが大事であり、外環道建設や、大規模開発はすべきはでない。</p> <p>放射能汚染対策への記述がない。除染についての対策は強化すべきだ。</p> <p>保育園増設などの少子化対策が区の未来にとっても大事。</p>
53	<p>区立施設の更新等あるが、学校とか子どもたちの施設などは(保育室、学童)単純に減らすべきではない。防災の観点からも、学校施設を残し、密集地に空間を確保することが必要。</p> <p>まちづくり、福祉、教育を含め、区が責任をもって、こうするというビジョンが欠けていると感じる。</p> <p>総合計画とほぼ同時並行でこのような意見を募っている手法はおかしい。</p>
54	<p>荻窪駅南エリアは、良好な住宅街が駅前より続き、風紀の守られた文教地域であり、現状のまちを存続していただきたい。</p>
55	<p>先ず第一に、杉並区に住んでよかったと思えるような福祉の充実をうたうべきである。</p> <p>荻窪駅前開発を目玉にしているが、荻窪に住んでいる住民にとって迷惑な話である。大規模な商業施設でなく、顔のつながりのある小さな商店を大事にした落ち着いた街でありつづけてほしい。</p>

番号	意見の内容
56	<p>向こう10年間、区の行政の基となる構想案を約1ヶ月という短期間に(説明会は3回、うち最終回は11月22日)区民の意見を募るとするのは、結論ありきで、区民の意見を聞いたというポーズのように思う。地方行政は「福祉」が最も大切と思うが、答申案には「絆」「支えあい」「区民との協働」などが前面に出され、行政が責任を負うという姿勢が感じられない。</p> <p>放射能汚染に対する区独自の取組が必要。 区民の税金を“開発”でなく“福祉”に使うよう強く要望する。</p>
57	<p>荻窪については、箱物より安心して住める「住宅地域」としての発展を望む。</p>
58	<p>1基本構想策定の背景(2)で、このままでは杉並区が相対的に埋没していくとの考え方は賛同できない。区立施設の再編整備では、大きくなくてよいから、利用できる施設が身近にあることこそ大切。支えあう地域社会の必要なことは当たり前。少子、高齢化に対する杉並区の対応をどうするのか。</p> <p>3私たちが目指す10年後の杉並 5つの目標はよいと思うが、どう実現するかが問題。</p> <p>目標1【戦略的・重点的な取り組み】広域幹線道路のネットワーク形成に向けて、具体的には何をどうするのか。外環のことを指しているのであつたら反対。</p> <p>目標2【戦略的・重点的な取り組み】あえて荻窪を「顔」とすることが必要なのか。多心型のまちづくりを進めることと矛盾するのではないか。</p> <p>目標3の再生可能エネルギーの活用は積極的に進めてほしい。</p> <p>目標4【戦略的・重点的な取り組み】 取り組みの基本的な方向はともよいが戦略的・重点的取り組みとしては、行政がどう支えるのか具体性に欠ける。もっと踏み込んだ対応が欲しい。</p> <p>目標5【戦略的・重点的な取り組み】 上と同様、戦略的・重点的取り組みになっていない。より具体的な方策を示すことが必要。</p> <p>5 基本構想を実現するために区民の区政への参加は重要。しかし公共サービスを通して区政は実感されるものでもある。参加と協働と併せて、区のサービスを充実させてほしい。</p> <p>同2. 持続可能な行財政運営(2) 区立施設の再編整備 武蔵野市のコミュニティセンターのように、小さくてもよいので、身近な所にたくさんの施設があるとよい。</p> <p>(3) 隣接区市などの他自治体及び東京都・国等との連携・協力はぜひ進めて欲しい。</p>
59	<p>目標1について。耐震にかかる費用が高い。公的な費用の援助がないとなかなか実現できないので調査と共に耐震化への具体的支援をしてほしい。</p> <p>目標4について。家族と一緒にそれぞれの生活があり、大切な場所になってきている。公的なフリースペースを老人のために歩いていける距離につくれば、元気に助け合って生きていけるのではないか。</p> <p>駅周辺にいろいろ集中するより、どこに住んでいても、学校、集会所、保育所、介護施設などが全体的にバランスよく配置できるといい。</p> <p>目標3について。緑の保全も個人に任されているようで年々減っていくのが残念。貴重な緑、公的援助も必要。</p> <p>目標5について。地域のコミュニティといってるが、学校選択制は矛盾してはいないか。幼保一元化とか、本当に1人ひとりの子どもや働く人を大事に考えるべき。</p>
60	<p>「人と地球にやさしい住宅都市を築く・豊かなみどりを守り育て、うるおいのあるまちを目指す」「屋敷林や農地などの民間のみどり、街路樹や公園などの公共のみどり、河川沿いの水辺環境を守り育み、それらをつなげたみどりのネットワークづくりを進める」これらはどれを取っても非常に大事なことで良い事だが、貴重なみどりの森や屋敷林が次々と伐採され失われていく事に心を痛めている。こうした立派なスローガンを掲げている杉並区内で、一番大切なみどりや景観を破壊する最悪な施策が今行われている。それは、成田東に位置する阿佐ヶ谷住宅建替え問題。</p>
61	<p>西荻、荻窪、阿佐ヶ谷、高円寺は中央線文化のへそであり、「観光都市」としても面白い街。ソーシャル型メディアを活用した「地域ブランドの育成」や、米農家をはじめとする生産者との距離感を縮めたり、「安心な土壌を守ること」に力を注ぐことが、重要。</p>

番号	意見の内容
62	<p>「区民」というのはだれをさしている言葉か？外国籍や在日の方たちを含めて「区民」としているのか？区の問題を明らかにせず、「区民と区がともに」という自己責任を押し付けるような物言いが気になる。10年後と言って急に具体的な施策を付け加えるのは、いかがか。こうした提案は基本構想とは別にすべき。</p> <p>「変化する東京都杉並のまちづくり」では、中野区のことを書かれているが、今、中野区民は大きなビルが林立する中で戸惑っている。そんな中野の街をモデルにされてはかなわない。</p> <p>まだ決定していないはずの基本構想実現のための総合計画(案)と実行計画(案)が発表された。いったいこれはどういうことか？納得できない。</p> <p>学区域の自由化を見直し、子どもたちが地域にしっかり見守られて育つようにすること。</p> <p>1クラスの人数を30人以下に減らす。単学級学年でも同様。</p> <p>既に失敗がはっきりしている小中一体型の一貫校は計画からなくす。</p> <p>「サット」などという愚かな施策はやめること。実際の子どもの状況や学校・担任を飛び越えて乗り込んできた人たちの、直接の「指導」や「アンケート」等でどれだけ子どもが傷付いているか。</p> <p>済美特別支援学校、南伊豆健康学園などの他区に誇れる杉並の宝物をより充実させること。</p> <p>情緒障害児学級の待機児童・生徒をなくすよう学級を増設すると共に、通常学級での発達障害児・生徒に対する支援を強めること。</p> <p>子どもに直接かわからない無駄な仕事から教師を解放して、教師が子どもたちと十分触れ合えるようにすることが、いじめなどをなくすことにつながる。</p>
63	<p>今のままの荻窪(南側)で十分。</p>
64	<p>南口から北口へ自転車のまま渡るのには苦労している。その通路が出来るとよいと思うが(高架など)、南口から続く閑静な住宅環境は今後も守られてほしい。</p>
65	<p>荻窪の南口は北側と異なった落ち着いた住環境を保って頂きたい。商店街は最少限にして、遊興施設(パチンコ店、風俗店など)は北側にまとめて、南側は本来の住宅地としての面目を保って頂きたい。</p>
66	<p>基本構想が総合計画と実行計画を同時に提示するのはいかがなものか。基本構想をしっかりつけて、その具体化として、総合計画と実行計画をつくるべきではないか。</p> <p>基本構想に、平和都市宣言や原水禁運動発祥の地という、歴史的な事柄を反映させてほしい。</p> <p>荻窪駅周辺再生事業とはどのようなイメージか。人々がふれ合う町並をこわさないで欲しい。</p> <p>高齢者のためのグループホームなどを町の中に増やして欲しい。旧荻小跡地や荻窪団地建替え地に高齢者施設や保育園を併設してください。</p> <p>学校格差をつくり、地域のコミュニティーをこわす学校選択制は廃止すべき。</p>
67	<p>基本構想は行政の指針となるべきものであり、区民の行動規範ではない、ところが、区民間の「ささえあい」「協働」など共助の概念が多用され、そのことにより行政の責任範囲が曖昧にされている。</p> <p>将来像のスローガンに「福祉」や「文化」の充実の語を書き込む必要がある。(例:88年基本構想「緑ゆたかな福祉と文化のまち」)</p> <p>理念をかかげるはずの基本構想で、なぜか「荻窪周辺まちづくり」だけ事業が具体的に書かれていることは突出しており異様。「都市機能の強化」「杉並の顔づくり」は区民的な合意にはなっていない。</p> <p>「10年後の姿」に「福祉の基盤整備」を加えるべき。</p> <p>5つの目標の中で、福祉の項目の順位を上げる(例「21世紀ビジョン」では2番目)こと</p> <p>目標4を変更する(例:「福祉と健康をささえるまち」など)こと。</p> <p>「基本的な方向」「重点的取り組み」の「孤立防止」に「行政による実態把握」を加えること。目標4の項では、貧困問題、母子福祉、児童福祉がぬけ落ちているので加筆すること。</p> <p>「はじめに」「抱える課題」には「少子化・高齢化が進む」ことが指摘されているが、そのことによる課題が書かれていない。高齢者福祉をはじめ、福祉の充実を目標として明確にすべき。</p>
68	<p>少子高齢化が進む中で、高齢者やこどもと若い子育て世代が、安心・安全に住みつけられる街づくりを進めて欲しい。特に次の計画を含めて欲しい。「高齢者が気軽に利用できるグループホームの計画」「公立保育園の増設計画」「子育て世代が安心して住みつけられる低家賃の区営住宅建設の計画」</p>

番号	意見の内容
69	<p>歩道上の自転車放置、歩行者を無視した走行等に対策をして欲しい。  子供から老人まで、安心して暮らせる静かな落ちつきのある住宅地と、魅力ある商店街をめざして欲しい。  図書館の書籍、CDなどを新しく充実したものにして欲しい。学校、幼稚園は地域の中心になるので、予算も充実させ防災拠点にもなるようにして欲しい。  電線の地中化、電柱をなくして欲しい。  ユニークでレベルな教育を進めてほしい。</p>
70	<p>基本構想を広く区民と区が共有すると書かれているが、私のまわりではほとんどの人が知らなかった。広報だけでは不十分。説明会も少なすぎる。区の職員が地域に入って住民の意見を十分に聞き取り反映させて欲しい。  きれいな言葉で書かれているが、実行できるのか不安。厳しい財政状況と言って、住民への負担が増えるのではないかと。  目標1～5まで、現場で働く人達の意見や専門家の意見が十分反映されているとは思えない。  荻窪駅周辺の重点整備に反対。  幼保一体化の保育施策には反対。</p>
71	<p>以前、敬老会館(現ゆうゆう館)では高齢者の為に二週間に一回、10時から3時まで区の職員と共に手芸や体操を行っていた。誰でも参加出来て、充実した内容だったが、財政難と、一部の利用者だけが継続しているのは不公平だ、という理由で廃止されてしまったが、是非復活して欲しい。</p>
72	<p>介護保険の在宅サービス時間の短縮が取りざたされている。週一回通院しているが、これ以上短縮されると通院ができない。  認可保育園の増設により待機児童をなくして欲しい。幼保一元化には反対です。  小中一貫教育の推進に反対する。これまで推進している区の実態をよく調査し、教育や児童がなぜ困っているかを教訓にして中止を決めてほしい。  無駄な環状道路の建設などに区として反対を表明して欲しい。</p>
73	<p>赤ちゃんから高齢者まで安心して住み続けられるよう区の責任で区民の福祉を向上させると書いてほしい。  若い人、子育て世代に家賃補助制度、また高齢者で住宅困窮している人のために低家賃の公営住宅の拡充などを。  保育園への待機児解消のためと称して詰め込みすべきではない。「幼保一体化」には反対。  小学校は選択制でなく、防災の観点からも地域に密着した通学が望ましい。  新しくハコモノを作るだけが良いとは思えない。  区民の区政への参加拡大、協働による公共サービスの提供とあるが、安易にNPOや地域団体に行政の下請けを担わせるのではないかと心配している。  杉並は魅力的な住宅地。地元の小売店が生き残れる政策を。</p>
74	<p>外環道や荻窪駅の再開発は反対。  現在困っている保育園に入れない子のため、認可保育園の増設を。  特養ホームがあまりに少なく、今後は家庭で見るのも限界なので、老人のための施設をたくさん作って欲しい。</p>
75	<p>荻窪駅周辺都市再生事業の推進について  南口方面は現状を基に良好な居住環境文教圏として、落ち着いた市街地を保持したい。決して周辺の繁華街と競争する様な無用の開発に遣わされる事なき様、切に希んでいる。  目標3 みどり豊かな環境にやさしいまち  建物周辺に可能な限り、中高木、低木、草を植える事を奨励して欲しい。また、放射能対策がないのはなぜか。</p>

番号	意見の内容
76	<p>構想というからには、具体的にとりくみが見えるようにしてほしい(総合計画にゆだねるのでなく)。</p> <p>目標1について 東日本大震災の教訓から、これを第1に掲げるのは賛成。しかしこのまちづくりは容易ではない。</p> <p>目標2について 都市計画道路都道補助27号線の計画は廃止し、別途見直すこと。他の駅中心の南北道路と違い、現存する繁华な(住民と密着している)商店街を破壊しないでほしい。</p> <p>目標3について 再生可能エネルギーは、住宅密集の杉並では太陽光以外には考えられない。とすればパネル設置促進の補助や公的建物の屋根・屋上などがある。</p> <p>民間のみどりの保護のため、登録されている屋敷林以外の庭の植木がどんどん失われているので、相続・建替等の情報をいち早くキャッチして、緑の保存に協力してもらうべき。</p> <p>目標4について 特養待機者ゼロの方策を具体的に示してほしい。</p> <p>目標5について 幼稚園の子供園化は、建物の老朽、構造上の不釣合など、相互の予算を見込むとともに費用対効果も考えて新・増設を。</p> <p>小学校の学区制をなくしてから、学校が地域コミュニティーの場でなくなった。学区制を元のように改めて欲しい。</p> <p>協働ということが公的責任放棄にならないようにしてほしい。</p> <p>周辺自治体との「協働」はとても大事。住民サービスの向上こそが行政改革である。</p>
77	<p>開発優先のまちづくりにより、子供達や高齢者の安心、安全な暮らしが脅かされる事のない様、荻窪駅南エリアの良好な住環境を守って頂きたい。</p> <p>柱となる「基本構想」が確定していない段階で手続きを踏まず、具体的な「総合計画」の同時策定は、区民や議会軽視の何ものでもない。</p>
78	<p>基本構想から熱意は伝わって来ない。綺麗事で終わっている。</p> <p>「家庭」が欠落しているが、家庭は全ての基盤。人間としてのしつけ常識は家庭で行い、家庭の人間関係から色々と学ぶ。子育ては家庭が第一義的役割を果たす事を前面に出してほしい。</p> <p>「子ども」になっているが、正しくは「子供」。後世に恥ずかしくない表記をお願いしたい。</p> <p>ご意見拝聴アンケート等で記名は感心しない。本音が出ないと思う。</p>
79	<p>答申案の5つの目標の具体化はあくまでも住民目線で行い、区民の要求実現の観点で推進していただきたい。是非とも、住民の声が反映できる体制を確保してほしい。</p> <p>5つの目標は柱で、本来抽象的であるべきはずなのに、いくつか具体的な提案になっていること(荻窪駅周辺まちづくり、幼保一体化など)に矛盾を感じる。</p> <p>荻窪の街づくり整備の発想は、どこから出てきたのか。再開発そのものには反対しないが、地元の商店や付近の住民の要求が実現できるための開発であるべき。</p> <p>認可保育所の増設は区民の願い。「幼保一体化」については、保育を民間の競争に委ね、保育への公的責任を放棄するような施策を行うべきではない。</p> <p>5つの目標に平和施策が掲げられていないことは誠に残念。杉並は、原水禁運動発祥の地である。また、杉並区は平和都市宣言をしている。</p>
80	<p>区民の意見を反映した基本構想が出来上がった後に「計画」が具体的に見えてくるものだと思う。</p> <p>駅前大型開発をしなければ活力がなくなり、埋没してしまうのか、これまでの日本の都市開発のあり方を検証、研究してほしい。</p> <p>都市計画道路の整備より、自転車と歩行者の共存のための道路整備が切実。</p>

番号	意見の内容
81	<p>平成23年の地方自治法改正で「基本構想」の策定義務が廃止された。基本構想を策定するかどうかを含め、「基本構想とは」の根本的な議論が必要ではないか。</p> <p>答申案が決まらないうちに、なぜその「具体的道筋」である総合計画案をまとめることができるのか。パブリックコメントや議会を軽視するものといわざるをえない。</p> <p>答申案は、「区民とともに」とか「支えあい共につくる」という表現を多用し、区政が解決すべき問題を住民に丸投げし、区政の責任を回避している。</p> <p>答申案の「区民」という言葉は、ながく杉並に住む外国人を含むことを明示する「住民」という言葉に換えるべき。</p> <p>中小零細の企業・業者に対する営業支援、青年や女性に広がる低収入・不安定就労の是正などに取り組む自治体は増えている。「格差と貧困」の解消は、主に国政のあり方にかかわる問題だが、区としても、国や都にも積極的に働きかけるべき。</p> <p>「エネルギー政策の転換」「再生可能なエネルギーの普及・拡大」に踏み込んでいるのは大いに評価できる。充実した具体策を期待したい。</p>
82	<p>『荻窪の開発』を掲げて、荻窪南口の用途地域まで上げないで欲しい。荻窪駅南口は、北口をとほまるで違う、立派な誇り高い文教地域である。駅前でありながら、犯罪の少ない風紀の守られた立派なまちである。</p>
83	<p>税収が激減している今、開発等に使わないで地道にやった方がいい。</p>
84	<p>荻窪駅南口は先見の明を欠いた先人の負の遺産とし、むしろこれを奇禍として、環八にて遠に広がる良好な住宅街への兼ねる「文教地域」としての現状を維持すべきと考える。</p>
85	<p>今回の基本構想で、荻窪駅前の開発型まちづくりが突出しているが、これ以上南口の開発は必要ない。</p>
86	<p>荻窪は、北と南では、街の歴史も、文化も、環境も違う。「北口の開発」としっかり明記して、南口を含めないよう、配慮を願う。</p>
87	<p>世界経済の先がみえず、特に日本では人口減少社会に於いて前向きな材料が全くないこの時期に、新たなプロジェクトを立ち上げる事は不可能に近い。荻窪駅南口方面を変わらないふるさとにしたい。</p>
88	<p>杉並の顔としての町は、今日まで緑と文芸からの町づくりだった。しかし道路整備が悪く案内係もおらず整備を急ぐことが必要。</p> <p>地元商店をこれ以上減らし、副都心の如き町づくりは荻窪の歴史を失わせるため、反対。</p>
89	<p>建築物・住宅の多様な緑化等を、繋がりある生態系多様性の調査に基づき実施すること。</p> <p>3.11の教訓より、M9-10を想定震度とする経済と建物でなく「命」を守る防災計画に改訂すること。</p> <p>荻窪に古き美しい杉並を再現すること。駅前を土の広場として、古民家郡を移築した公共施設を設置し、車の乗り入れを禁止すること。</p> <p>子どもの権利条約の精神に基づき、あらゆる施策に「子どもの声を聞く」回路を設けること、また女性の視点を導入するために、区職員管理職の半数に女性を登用すること。</p>
90	<p>「みどりの拠点整備とネットワーク作り」が戦略的・重点的な取組みに挙げられている事はとてもいいことであるが、「自然状況を把握すべく専門家によるきめ細やかな自然環境調査を定期的に行う」「自然環境調査の結果から生態系保全の計画を策定・実行し、公園管理などの都市計画、行政サービスなどに反映させる」の2項目を盛り込むことを要望する。</p> <p>「ゆとりとうるおいを実感できるみどりをつなげる」という項目の中で、「多様な生物が生育できるうるおいとやすらぎのある水辺環境を保全・創出します。」とあるが、水辺環境に限らず多様な生物の生育できる環境は重要。</p>

番号	意見の内容
91	<p>基本構想の背景に、みどりに関しての現状が述べられていない。「変化する東京と杉並のまちづくり」の項で、杉並区が相対的に埋没する懸念があると書かれているが、とても偏った見方である。「このままでは都市の魅力や～懸念されます。」部分を削除すること。「1. 基本構想策定の背景(2)変化する東京と杉並のまちづくり」の部分に、「杉並は大都市のごく近郊という場所柄にもかかわらず、まだまだ豊かな生態系が残されている希有なみどりを有しているが、社会的にバブルがはじけ、景気が低迷するあおりを受けて、杉並の大きな魅力のひとつというべきそのみどりが生態系保全の視点をもたない大小の開発によって壊されていく現状がある」というような内容を盛り込むこと。</p> <p>「目標3 みどり豊かな環境にやさしいまち」の「取組みの基本的な方向」に「常にみどりの現状をふまえ、より良いみどりの政策をおこなうために、定期的な自然環境調査をおこない、着実にみどり豊かな環境を育てていく。」というように項目を追加すること。</p>
92	<p>「参加と協働による地域社会づくり」(P16)を、「5. 基本構想を実現するために」(実現するための手段)という位置付けではなく、目標の一つに掲げるべきである。今の段階で新しく目標を立てることは、実現性はないかもしれないが、今の位置づけでも、参加と協働の在り方について区と区民がともに考え実行していくことを改めて強く望む。</p>
93	<p>これから10年後の理想的な社会環境を考えると、必要なのは学校教育を終えた後の社会教育である。生涯学習社会の中に、「図書館の充実」という言葉がどうしても必要と思われる。</p>
94	<p>(目標5)人を育み共につなげる心豊かなまち</p> <p>幼保一体化に反対。幼稚園と保育園はこれまでそれぞれ独自の役割を果たしてきた。認可保育園の拡充、幼稚園の拡充によって、働きながら安心して子育てができる環境を目指すべき。区立保育園の民間委託はやめるべき。</p> <p>杉並の優れた学童保育の拡充こそ求められている。民営化をやめ、区の責任で学童保育の拡充、施設の充実、指導員の増員を図るべき。</p> <p>学校教育について、まず子どもたちが安心して学べる環境を整備することが大切である。その第1は「少人数学級」。直ちに30人以下学級の実現を目指すべき。</p> <p>学校が地域の人たちとコミュニケーションを図り、子どもたちや教育現場の情報を共有することが必要。入学式、卒業式への「日の丸・君が代」を強制することに反対。</p> <p>地域や学校を分断する学校選択制はやめるべき。</p>
95	<p>「各地域の特色を生かし、地域商店街の個性を育てる、路地裏に緑あふれるまち、お年寄りや子供たちが安全に過ごせる地域の特性を活かしたまち」こそ、緑の杉並区が目指す道である。狭隘な道を拡幅し、車優先のまちづくりが、即災害に強いまちにはならない。各地域に、公園、オープンスペースが確保することが先決である。浜田山の三井グランドは、現実に区が貴重なオープンスペースを潰すことに加担している。</p> <p>南北交通改善について、補助215号線のことを指すのであれば、立ち退きを含め、住民の生活に多大な影響を及ぼし、静かな住宅街は道路によって分断、それに伴い沿道の高層化が図られ、一層環境は悪化する。誰もが移動しやすいまちづくりとは、住民を立ち退かせ、高架をかけなければ、向こう側に渡れない16m道路をつくることではなく、バリアフリーが完備した、緑豊かなまちづくりである。</p> <p>宅地の細分化により民間の緑は減少している。危機的な水辺の環境、緑の減少の現状をみすえ、把握し、改善していこうとする指針が答申案に見られない。</p> <p>三井グランドは、杉並区自らの主導のもと、潰され、現在あとかたもない。神田川沿いの水辺のネットワークは、新たなマンション計画なども加わり、荒廃が進んでいる。現実と乖離している答申が具現化できるとは到底考えられない。</p> <p>今回の答申案についての、説明会の参加者が極めて少なかったのはなぜか。</p>
96	<p>認可保育園にもっと力を入れて欲しい。保育園の増設と保育環境の向上と次世代を育てることが行政の任務ではないか。</p>
97	<p>外環道については、世界一巨大な大深度地下トンネルを掘ることにより、善福寺池周辺のみどりの環境に大きな影響が予想される。周辺での水涸れを引き起こすことにつながる。外環の2(地上道路)の推進も考えているならば、良好な住環境を壊される。絶対にやらないでほしい。</p> <p>目標4について、お年寄りのライフエリアは、500mから700mの範囲で生活要件が整えられるような方策を考えることが重要。買い物、公共機能、医療、福祉機能、働く場などを一体に整えること。</p> <p>子どもたちの保育園の充実など、こういう観点が必要になってくる時代になっている。荻窪周辺の箱もの開発でなく、このようなことにお金を使う方が、杉並区らしい地域をつくることになる。</p> <p>基本構想が答申案で区民の意見を求めているさなか、成立していないのに、なぜ、基本計画を具体化する「総合計画」「実行計画」が出てくるのか。</p>

番号	意見の内容
98	待機児をゼロにするため、早急に認可保育園の増設を。 待機者ゼロにするため特養ホームを早急に増設を。 小中一貫教育は弊害があると聞いている。やめてほしい。 荻窪駅周辺の再編整備は必要ない。 基本構想のどの施策をとっても、区への対応が不明確に思われる。 安心して住み続けられる杉並区を地方自治法に基づき、区で住民主体の社会保障制度を充実させてほしい。
99	荻窪駅前の開発だけが具体的に書かれているが、個人商店の整理等の問題もあり、現状で良い。これ以上の開発の必要があるのか。 高齢者の入所施設には1100人以上希望者が待っていると聞く。1日でも早く安心して生活できる施設をつくってほしい。 廃校後の施設が、そのまま放っておかれている。地域に開放したり、災害時に避難所として使うことも考えた公的施設にしてほしい。
100	望むことは安い住宅。家賃補助。 荻窪駅周辺の開発があがっているが、文化都市杉並として栄えるならやぶさかではないが、その前にそれを利用して恩恵を受けられる状態であることが一番。
101	「支えあい」も確かに大事。しかし、大震災を体験すると、民間レベルは頑張り、国、県、都、区は何をしているのか？と、怒りを感じる。
102	荻窪はベッド・タウン。どうか静かに暮らせると言う宝物を壊さないでほしい。
103	3月の東日本大震災を受けて、地域住民の「絆、支えあい、ご近所づきあい」が見直されたことは良いことと思う。 これからの日本を背負っていく子供を育てるため、きちんと条件の揃った保育園を増やしてほしい。(園庭もない、狭い保育園があちこちある。)
104	進展すると予測されている少子高齢化に区として本気で取り組むのであれば、目標1・2にしていけないことが疑問。 これから高齢化すると予測しているため、荻窪など駅周辺は高齢者にとって、安全・安心のまちづくりを進めていくようにお願いしたい。
105	荻窪駅前の開発により、今までの町らしさがなくなってしまうのが心配。保育や福祉の充実等、開発より優先するべきことがあると思う。
106	「地域で支え合う」「家庭・地域・学校との連携と協働」がことさら強調され、行政の役割を回避し地域に委ねる方向性が読み取れる。 過密な授業、過酷な受験競争をはじめとする過度な競争が子ども達の心と身体を蝕んでいる。教師も授業の準備や子ども達と向き合う活動に十分な時間をさくことができない。計画策定に当たって、杉並のこどもの実態と学校の抱える困難を学校関係者から直接聞くなどして十分把握すること。また、学校の自主性と主体性を尊重すること。 様々な問題点が指摘されている「子ども園」と「小中一貫教育」推進につながりかねない「幼保一体化を含む保育施設」「学びの連続性を重視するとともに」の文言を削除すること。
107	全体的に行政としての責任、やる事よりも、区民がやらなければいけないと押し付けられている感じがする。 働ける女性がいるのに、保育所が足りない、労働力を考えてももったいない。幼保一体化ではなく、公立の保育所を設置すべき。 区職員の切り捨て、民営化ではなく、雇用の場として、住民サービスのためにも職員を増やすように。どうして「荻窪駅周辺まちづくり」だけ出てくるのか。
108	全体的にスマートな言葉で書かれているが、具体的にどのような杉並区がつけられるのかイメージが湧かない。 若い人への家賃補助や、安心して子育てのための保育園の充実などの環境整備に力を入れてほしい。 全体的に効率を重視し、サービスが低下されるのではと不安。区で責任として福祉の充実を！

番号	意見の内容
109	<p>荻窪駅周辺のこれ以上の開発に反対。概括的・抽象的な施策・計画の中で、荻窪駅の「南北分断の解消と都市機能の更なる強化」のみは、著しく具体的な計画として示されている。</p> <p>基本構想の全面にわたって、「1人ひとりが個性を發揮」「地域で支え合う」「つながりづくり」「孤立させず…」などが、ちりばめられている。区がどのような意思と責任をもって、条件整備をしていくかを掲げるべきである。</p> <p>古くは光化学スモッグ、環七喘息、さらに杉並ごみ中継所による健康被害、環八雲など、全国的に知られた環境課題がある。こうした環境問題とへの取組みも、非常に弱いと感じる。</p> <p>子どもから成人にわたる消費者問題にも、目配りが無い。</p> <p>区民意見を公募しつつ、12月1日に総合・実行計画を公表したことに不審と不信を抱く。</p>
110	<p>開催間際になっての公表(PR)、わずか3回の説明会は、まずいただけない。</p> <p>前の基本構想とそれに則って進められた施策をどう評価したのかが全く述べられていない。実態を知らない机上の論議から作られたと思われる美辞麗句に終始しており、評価、信用ができない。</p> <p>子どもたちへの施策の中に、児童館、学童クラブが明確な位置づけをされていないのは理解しがたい。同時に「質の高い学校教育」とは何か。</p> <p>区民はそもそもこの自治体の主人公、主権者。だからこそもっと丁寧に声をきいたり話したり交流する体制を整えるべき。今までも、協働の名目でどれほど公の責任を手放してきたことか。</p> <p>福祉、教育には人も金も必要。“まちの活性化”などと言って、 unnecessary 施設の再編などに税金を使わないでほしい。</p> <p>国の動向、都の動向を見ないと決められない、動けない杉並区ではなくて、区民の要求を国にも都にもはっきり言える自治体になってほしい。</p>
111	<p>「住宅都市杉並」という理念は賛成だが、これは荻窪駅周辺にも適用すべき。現在の住環境を維持すべきであって、用途地域の変更を行う必要はない。</p>
112	<p>荻窪南口は、交通は利便性高く、居住環境最高、犯罪率の低い、文教地域であり、“開発”しようとしても、かなり無理がある。</p>
113	<p>南口は駅前より、中層のファミリーマンションが続き、比較的に子供の多い住宅都市である。“安全”を追求する「文教都市」でもある。今後とも静かな住宅環境を維持してほしい。</p>
114	<p>荻窪南口は子どもが多く、学校が多く。用途地域をあげないでほしい。</p>
115	<p>八コモノや駅前開発は消費の活性化にはならない。消費力の不足にどう対応するのか。人口が増えているときの発想では失敗する。</p> <p>1年ごとに検証する必要があるはずだが、その仕組みが出来ていないのは問題。想定が実情とずれていった時どうするのか。</p> <p>増大する高齢者人口を社会資源とみて、サービス供給を雇用の創出と考える仕組みが視点となっていない。</p> <p>放射能による健康被害が10年以内には顕著になる事が想定される。社会的にも広い範囲に重い負担が発生するのは避けられないが、これについての取組が考えられていない。</p>
116	<p>私達は荻窪駅南口の環境を守っていくために、大変な努力をしている。ここは駅前よりファミリーマンションのまちで、このまちを死守したい。</p>
117	<p>個人商店・商店街は地域の交流や活性化、また住みやすい街に欠かせない存在である。後継者がいない、経営が厳しいなどで減っていく個人商店を何とか食い止め止められないものか。</p>
118	<p>西荻窪駅周辺は路地が多く、古本屋や雑貨店、骨董品店、画廊など小さくても、店主のこだわり光る店が多く、休日には、アンティーク本を片手に町を散策する客も多く訪れる。地元住民の意向を無視した画一的な再開発を行えば、町の個性を奪い、古本屋や雑貨店、骨董品店、画廊なども移転してしまう可能性がある。</p> <p>都市計画道路の整備にあたっては、単なる道幅の拡幅ではなく、住民の意向を大切にして、通り抜け道路にならぬよう、町並みと調和した整備をお願いしたい。</p>
119	<p>基本構想に、杉並の伝統と平和への熱意(心)が欠けている。1988年の「杉並区平和都市宣言」は全国から注目され記念像まで建てられ、1954～55年の原水爆禁止運動は世界からも注目され「杉並の歴史上」最も大切なものである。</p>

番号	意見の内容
120	東京都シルバーパスを利用しているが、「高円寺陸橋」「高円寺駅入口」間は30分に1本しか運行がなく、バス便の増加を求む。また、JR阿佐ヶ谷 JR荻窪間も本数が少なく距離も長く、時間通りの運行されない。バスの増便が不可能ならば、「すぎ丸バス」「都バス」の参入を検討を。
121	荻窪は、JRと地下鉄の結合点で、杉並の中央にあり、青梅街道にも面した杉並区のセンター的なところである。区を中心にふさわしい機能の集積と文化的で魅力あるまちとしてのまちづくりを是非お願いしたい。
122	荻窪駅は区内でも有数の乗降客数があり、特徴のある、外からも多くの人が集まる街になってもらいたい。にぎわいのある、文化の香りが高い、高齢者も若者も、そして障がいのある方も気軽に集える、そのような街にしていきたい。
123	杉並区が目指すべき姿の実現に向け努力されることを期待する。 通勤や買物で利用する荻窪駅周辺が、新宿や吉祥寺をマネするのではなく、杉並らしい落ち着きを加味したものにすることを望んでいる。
124	荻窪駅北口駅前広場が完成し、前より広く使いやすくなったが、まだまだ発展途上。北口周辺は、近隣の吉祥寺や中野に匹敵する魅力あるまちづくりを進めて欲しい。 南口は、一步奥に入ると閑静な住宅街が広がっている。散歩するにも楽しい美しい住宅街や豊富な緑もある。ぜひ、散歩を楽しめるガイドマップや標識の設置をお願いしたい。
125	今後の荻窪には、商業の発展による賑わいはもとより、アートアニメやオペラ、浄瑠璃といった希少文化を大切に劇場をビルの一室に用意するなどして、ふだん目には難しいけど荻窪に行けば、必ず見て触れて体験できるまちとして期待する。そぞろ歩きできる荻窪は、まちのすべてが「文化発信基地」である。全国からそのように言われることを夢みつつお願いするしだい。